

日本語論文のルール(改訂版)

1 基本的なルール

1. 英数字は、半角で表す。
2. 数字と単位は、半角スペースを空ける。 ◯;60 cm ×;60cm ×;6 0 c m
※(例外); 「℃」、「°」 ◯;60℃ ×;60 ° ◯;60° ×;60 °
3. いくつかの単位に存在する、環境依存文字(記号)は使わない。
4. Wordの場合は、日本語フォントは「MS 明朝」、英数字は「Century」 使用する。
Googleドキュメントでは、日本語フォントは「MS P明朝」、英数字は「Times New Roman」を使用する。
5. 句読点の「、」について、本来論文では「,」を用いることが通常である。

2 図・グラフのルール

1. 図(または写真)・グラフ(または表)には、すべて「図」・「表」と表記し、通し番号とともに何を意味しているかを簡単に示したタイトルを明記する。配置は、図・写真・グラフはその下に、表はその上に配置する。

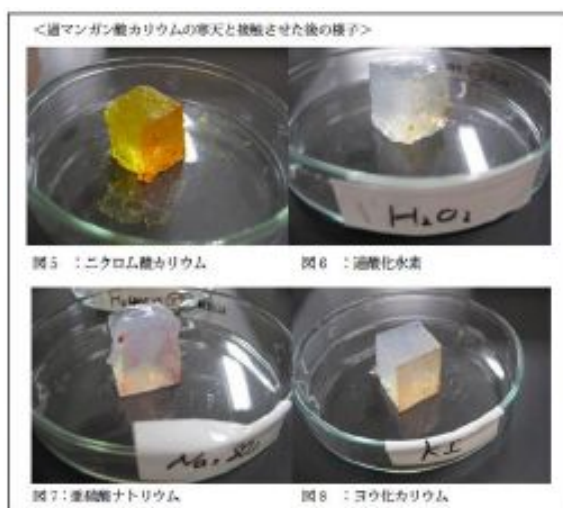


図9 4つのデータを4つの図として表わした例

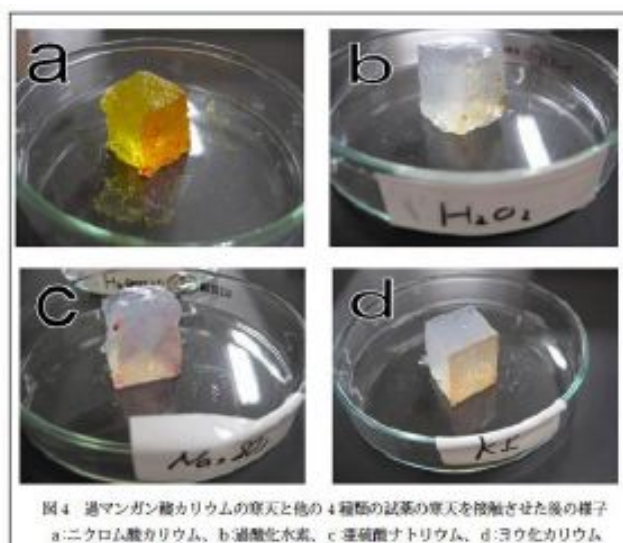


図10 4つのデータを1つの図として表わした例

通し番号, タイトル		
表3 ■ 3種の基質に対するXYLTとFUCTの K_m 値の比較 ⁷⁾		
糖鎖基質	K_m 値 (mM)	
	XYLT	FUCT
GN2M3-Asn	0.40±0.15	0.49±0.07
GN2M3F(3)-Asn	1.69±1.10	—
GN2M3X-Asn	—	0.75±0.10

図11 「表」での、通し番号、タイトルの書き方の例

2. 生物名を学名で記入するときは、イタリック体にする。○; *Octopus vulgaris*

○; *O. vulgaris*

3. 化学式を用いる場合は、「上付き」「下付き」を選択し、正しい表記にする。

○; H₂O, H⁺, H₂SO₄ ×; H2O, H+, H2SO4

3 参考文献のルール

1. 「書籍」の場合

書名, 著者名, 出版社名は必須事項であり, 出版年もできるだけ書くようにしたい。

例: 『理科系の作文技術』 木下是雄著(中公新書) (1981)

2. 「論文誌」の場合

論文タイトル, 著者名, 論文誌名, 巻・号・, ページ数, 発行年を書く。

例: 「『再生可能エネルギー』の学習に活かしたい数量的データについて」, 寺内 衛, 寺内かえで,
大学の物理教育, 第 19 巻(第 3 号), pp.96-10 (2013)

3. 「インターネットのサイト」の場合

ページの名称, URL は必ず書くこと。

例: 1) 文部科学省 新学習指導要領・生きる力

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/y

2) Science for all Americans Online,

<http://www.project2061.org/publications/sfaa/online/sfaatoc.htm>

3) “科学”と“技術”に関する過去の議論, 2011 年 4 月 19 日日経配信記事

<http://www.nikkei.com/article/DGXBZO26552060R10C11A4000000/>

4) STEM fields (英語版ウキペディア)

http://en.wikipedia.org/wiki/STEM_fields